

上腹部の深部膿瘍に対する安静呼吸下で行う経皮的ドレナージテクニックに関する研究

1. 研究の対象

2016年1月から2019年1月までに当院放射線科にて上腹部の深部膿瘍に対してドレナージを受けられた方

2. 研究目的・方法

上腹部の深部膿瘍は周囲に腸管や膵臓、脾臓があり、経皮的にドレナージを行う場合、穿刺針の誤穿刺による合併症が問題となります。そのため、通常、針を刺すとき、患者さんに息止めをしてもらい、臓器の呼吸性変動をなくした上で針を刺しますが、息止めすることが難しい患者さんの場合、経皮的ドレナージ術を行うことが難しいことがあります。

安静呼吸下で穿刺を行うことが出来れば息止めをすることが難しい患者に対しても経皮的ドレナージを行うことができ、患者にとっての負担は軽減すると考えています。

今回、その方法についてテクニカルノートとして詳細に報告する予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんのドレナージ術を行うさいの診療録、検査データ、画像データを使用します。したがって、患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。

また、情報、画像は全て匿名化して研究に使用します。カルテ番号、生年月日、イニシャルなど個人を特定しうる情報は用いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1211（代表）

研究責任者：放射線医学講座 助教 須山陽介